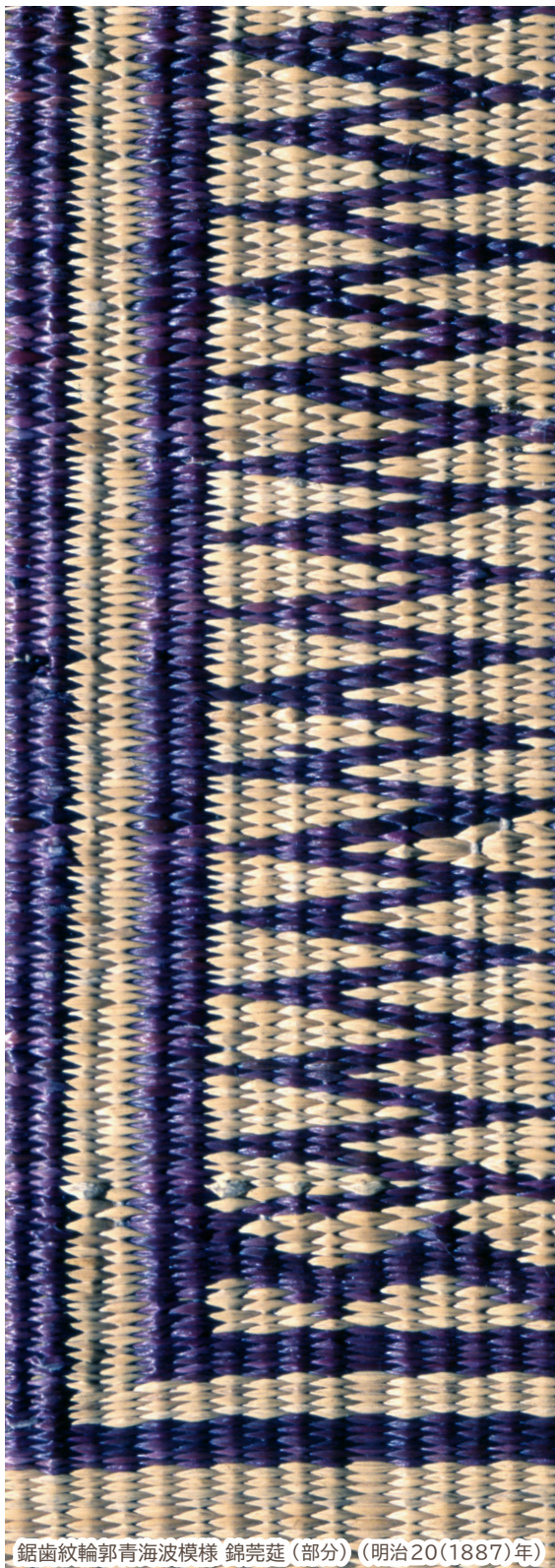


令和5年度 テーマ展

涼

をよぶ岡山の伝統工芸

— 花はなござと 撫川なつかわうちわ —



鋸歯紋輪郭青海波模様 錦莞莖 (部分) (明治20(1887)年)



撫川うちわ 鮎柄 坂野次香作 (現代)

令和5年 **6/22** (木) ~ **7/23** (日)

- 開館時間 午前9時～午後6時
- 休館日 6/26(月)・7/3(月)・7/10(月)・7/18(火)
- 入館料 大人250円、65歳以上120円、高校生以下無料
- 展示解説 7/1(土)・7/15(土) 各日午後2時～3時

〈主な展示資料〉 錦莞莖および磯崎眠亀関連資料(明治～大正時代)、織込花莖(昭和時代)、輸出用花莖(近代)、撫川うちわ(現代) ほか

夏至を過ぎると暑い夏がやってきます。現代の夏では空調が欠かせませんが、昔はひんやりしたいぐさ藺草製品や、柔らかな風を生むうちわが暮らしに溶け込んでいました。

本テーマ展では、涼をよぶ岡山の伝統工芸として「花ござ」と「撫川うちわ」をご紹介します。これらは実用品としてはもちろんのこと、藺草による緻密な織込紋様や、美しい透かし絵など、目でも楽しむ要素も特徴です。

花ござや撫川うちわの涼やかなデザインをとおして、岡山の夏を感じてみませんか？

【同時開催】〔第1・2展示室〕古代吉備の世界—岡山県内出土の考古資料—、幕末維新までの岡山の歴史、昔の暮らしと道具、交通—絵馬に描かれた船—
〔第3展示室〕備前焼、みなさまからご寄贈いただいた刀剣 〔第4展示室〕県北の仏教美術



岡山県立博物館
Okayama Prefectural Museum

〒703-8257 岡山市北区後楽園1-5
TEL 086-272-1149(代表) FAX 086-272-1150
<https://www.pref.okayama.jp/site/kenhaku/>

